

# 遺跡へ行こう

北海道全域にある約7000カ所を超える縄文遺跡。世界遺産の構成資産・関連資産となった道内7カ所の遺跡のほかにも、実際に見ることができるもの、調査を終えて土の中にあるもの、出土品だけが展示されているものも。いろんな遺跡に足を運んで、1万年前の縄文人の暮らしを感じ、縄文人が見ていた景色を見てみたい！  
縄文女子オススメの、楽しくてちょっとマニアックな遺跡めぐりの極意をご紹介します。

**POINT** まずは、遺跡全体を見渡してみよう！縄文人にとってのシンボルになりそうな立派な山や川、日の出・日の入りの場所が見えてくるはず

**POINT** おしゃれをして出かけよう

**POINT** おさわりOKの出土品は、ジャンジャン触ってみよう！（施設の人に確認してね）縄文人と時間を越えた間接握手ができるよ！

**POINT** 縄文人の食に注目！ここで何を採ってどうやって食べていたのか想像してみよう！近くに生えている植物、地形や出土品からいろいろ推理してみよう！

**POINT** 遺跡を痛めるからヒールはNG！靴だけは歩きやすいもので。

**POINT** 何度訪れよう！季節や時間、お天気によって、遺跡の表情はびっくりするくらい変化するよ！花々も草木も海や空の色も匂いも全然違うの！

**POINT** 縦穴住居跡では、中で何人位寝っ転がれるのか、間取りを想像してみよう！縄文人の家族の姿や日々の生活が見えてくる気がするよ

**POINT** 体験できるプログラムやイベントがあったらぜひ参加してみよう！縄文人になりきって思いっきり楽しんじゃおう！

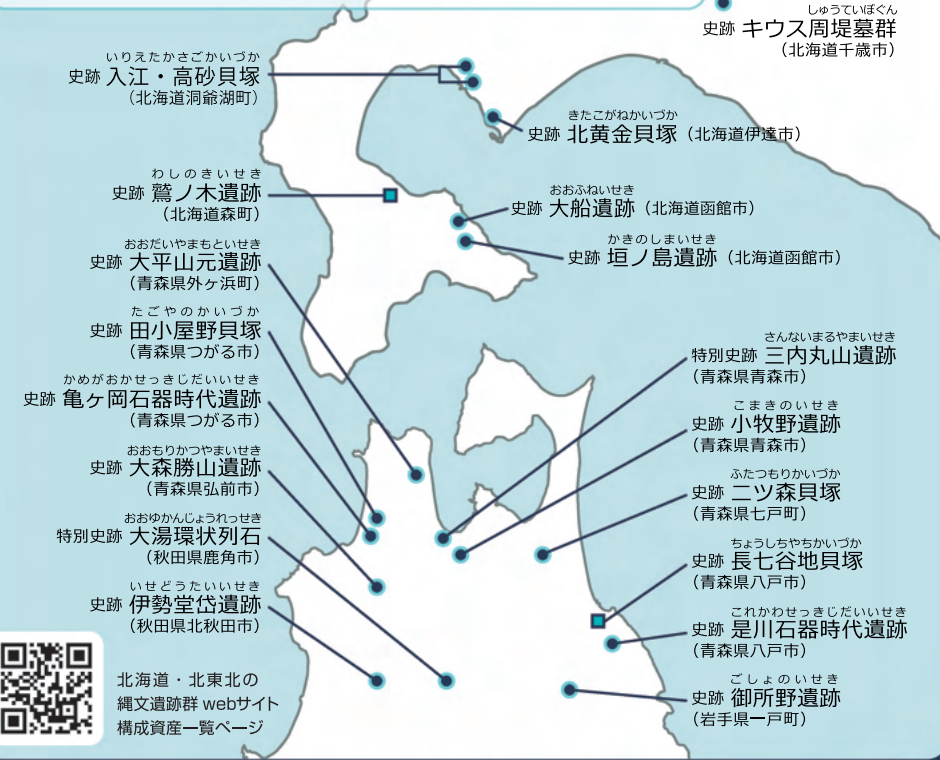
**POINT** ガイドさんがいたら、恥ずかしがらずにぜひ案内をお願いしよう！おもしろい小ネタも満載、地元の方のお話こそが宝物☆

## 「定住生活」は人類史のビッグイベント

縄文遺跡群が世界遺産に登録された理由は、狩猟・採集・漁労を生業としながら「定住生活」を実現し、存続させたことにある。定住生活というと、なんだか当たり前のように思えるが、実は「移動生活」が圧倒的に長かった私たちホモサピエンスの歴史を変える一大イベントであった。  
この生活形態の転換によって、人類の生活や精神文化は大きく変化することになる。現在、登録された遺跡は都市公園のように綺麗に整備されているが、そこから定住によって人類がどのように変化したかを読み解かなければならない。それが遺跡を見る力であり、遺跡整備の課題でもある。 C Abe

# 北海道・北東北の縄文遺跡群

北海道、青森県、秋田県、岩手県にある17構成資産（北海道は6）、2関連資産（北海道は1）で構成されています。  
採集・漁労・狩猟により定住社会を長期間存続させた生活のあり方や精神文化が普遍的価値として評価され、世界文化遺産に登録されました。



## 世界遺産の遺跡はここがポイント！

### 世界遺産として認められた価値はコレ！

- ▶ 採集・漁労・狩猟をしながらも定住が1万年以上も続いたこと
- ▶ お墓や環状列石、土偶などが、精緻で複雑な縄文人のココロを伝えていること
- ▶ 定住が始まり、発展、成熟するまでの生活の様子がわかること
- ▶ 多くの種類の食べ物を得るため、様々な地形にムラが作られ、その環境に合わせて技術や道具が発達したこと

### 6つのステージ

世界遺産登録となった17遺跡は、約1万年にわたる生活のあり方や精神文化を示す「6つのステージ」を知ると面白さが倍増！もっと知りたい方は、こちらから。



さあ、出発!!